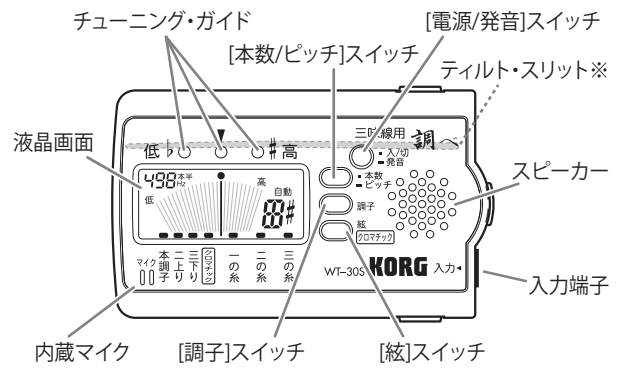




## 三味線用 (WT-30S)



※ 本体裏側のスリットは、チューナーを傾けて使うためのものです。スリットにカード等をセットしてお使いください(大切なカード類は使用しないでください)。

### 三味線のチューニング

□ **液晶画面を見ながらチューニングしよう(メーター・モード)**

- 別売オプションの**コルグ コンタクト・マイクCM-300**を使用するときは、マイクのプラグを本機の入力端子に接続します。  
**内蔵マイクを使うときは**、入力端子にプラグを接続せずに、手順4で内蔵マイクを楽器にできるだけ近づけます。  
※ 入力端子にプラグが接続されているときは、内蔵マイクは使用できません。また、入力端子はモノラル専用です。ステレオ・プラグは使用できません。

- [電源/発音]スイッチを押し、電源をオンにします。  
電源をオンにした後、約20分間音が入力されない場合は、自動的にオフになります。

- 必要ときは、調子、本数、絃、ピッチを変更します。  
**調子を変更するときは**[調子]スイッチを押します。[調子]スイッチを押すたびに、本調子 → 二上り → 三下り → クロマチック → 本調子 ... と選択できます。選んだ調子は液晶画面の左下に示されます。  
※ クロマチックを選択しチューニングするときは、後述の「クロマチック・チューニング」の項をご覧ください。

**本数を変更するときは**[本数/ピッチ]スイッチを押します。1本～12本半の範囲で変更できます。選んだ本数は液晶画面の左上に表示されます。

**絃を変更するときは**[絃]スイッチを押します。[絃]スイッチを押すたびに、一の糸 → 二の糸 → 三の糸 → 自動 → 一の糸 ... と選択できます。選んだ絃は液晶画面の右下に示され、その上に音名が表示されます。  
**ピッチを変更するときは**[本数/ピッチ]スイッチを1秒以上押します。液晶画面の左上がピッチ表示に変わり、点滅します。表示の点滅中に[本数/ピッチ]スイッチを押して、ピッチを変更します。  
[本数/ピッチ]スイッチを押さないまま3秒経つと、本数表示に戻ります。

- 絃を鳴らしながらチューニングします。絃は1本ずつチューニングしてください。  
メーターが●位置(液晶画面中央)を指すように絃を調整します。次に、チューニング・ガイドの中央ランプが点灯するように調整します。  
**手順3で絃を「自動」にしたときは**、絃を鳴らすと、その音に一番近い絃名が液晶画面に表示されます。まず、合わせたい絃名が表示されるように絃を調整します。次に、メーターが●位置(中央)を指すように調整します。そして、チューニング・ガイドの中央ランプが点灯するように調整します。  
※ チューニング時は、他の音がマイクに入らないようにしてください。

□ **本機の音に合わせてチューニングしよう(サウンド・モード)**

- “三味線のチューニング”の「液晶画面を見ながらチューニングしよう」の手順2、3を設定します。
- [電源/発音]スイッチを1秒以上押すと、一の糸～三の糸の音が順番に鳴ります。

音を固定するときは[絃]スイッチを押します。次の音へ切り替えるときは[絃]スイッチを押します。

- 音に合わせて、それぞれの絃をチューニングします。
- 音を止めるときは[電源/発音]スイッチを押します。

### クロマチック・チューニング

□ **液晶画面を見ながらチューニングしよう(メーター・モード)**

- “三味線のチューニング”の「液晶画面を見ながらチューニングしよう」の手順3で、調子をクロマチックに設定します。  
**音名を変更するときは**[絃]スイッチを押します。[絃]スイッチを押すたびに、以下のように音名が変更されます。選んだ音名はメーターの右側に表示されます。  
**音名:** 自動 → C → C# → D → D# → E → F → F# → G → G# → A → A# → B → 自動 ...

- 絃を鳴らしながらチューニングします。絃は1本ずつチューニングしてください。  
メーターが●位置(液晶画面中央)を指すように絃を調整します。次に、チューニング・ガイドの中央ランプが点灯するように調整します。  
**手順1で絃を「自動」にしたときは**、絃を鳴らすと、その音に一番近い音名が液晶画面に表示されます。まず、合わせたい音名が表示されるように絃を調整します。次に、メーターが●位置(中央)を指すように調整します。そして、チューニング・ガイドの中央ランプが点灯するように調整します。  
※ チューニング時は、関係のない音がマイクに入らないようにしてください。

□ **本機の音に合わせてチューニングしよう(サウンド・モード)**

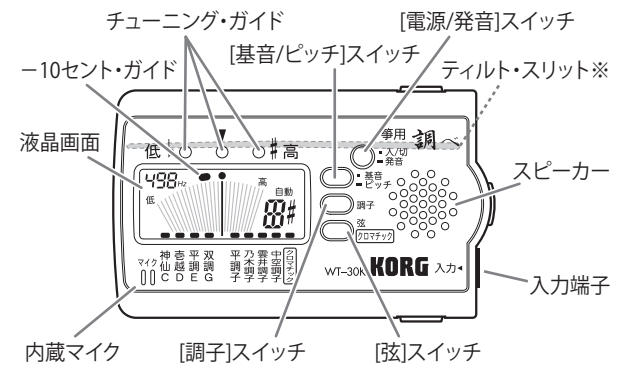
- “三味線のチューニング”の「液晶画面を見ながらチューニングしよう」の手順3で、調子をクロマチックに設定します。
- [電源/発音]スイッチを1秒以上押すと、12の音が順番に鳴ります。  
**12の音:** C (4) → C# → D → D# → E → F → F# → G → G# → A → A# → B → C (4) ...
- 音を固定するときは[絃]スイッチを押します。次の音へ切り替えるときは[絃]スイッチを押します。
- 音に合わせて、それぞれの絃をチューニングします。

## 仕様

<b>音律:</b>	平均律
<b>調子名:</b>	本調子、二上り、三下り、クロマチック
<b>本数:</b>	1本～12本半(110.00Hz～213.74Hz)
<b>測定範囲:</b>	C1 (32.70Hz)～C8 (4186.01Hz)
<b>基準音範囲:</b>	A2 (110.00Hz)～B4 (493.88Hz)
<b>チューニング・モード:</b>	メーター・モード、サウンド・モード
<b>ピッチ範囲:</b>	A = 430Hz～445Hz
<b>測定精度:</b>	±1セント以内
<b>サウンド精度:</b>	±1セント以内
<b>接続端子:</b>	入力端子(φ6.3モノラル標準ジャック)
<b>電源:</b>	単4電池2本 3V
<b>電池寿命:</b>	約100時間(マンガン電池、メーター・モード音声連続入力時)
<b>外形寸法(W x D x H):</b>	104 x 64 x 15 mm
<b>重量:</b>	81g(電池含む)
<b>付属品:</b>	取扱説明書、調弦早見表
<b>アクセサリ(別売):</b>	CM-300コンタクト・マイク

※ 調子、本数、絃、音名、ピッチの設定は、電源をオフにしても記憶しています。ただし、電池を交換した場合は、設定が初期化されます。  
※ 仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

## 箏用 (WT-30K)



※ 本体裏側のスリットは、チューナーを傾けて使うためのものです。スリットにカード等をセットしてお使いください(大切なカード類は使用しないでください)。

### 箏のチューニング

□ **液晶画面を見ながらチューニングしよう(メーター・モード)**

- 別売オプションの**コルグ コンタクト・マイクCM-300**を使用するときは、マイクのプラグを本機の入力端子に接続します。  
**内蔵マイクを使うときは**、入力端子にプラグを接続せずに、手順4で内蔵マイクを楽器にできるだけ近づけます。  
※ 入力端子にプラグが接続されているときは、内蔵マイクは使用できません。また、入力端子はモノラル専用です。ステレオ・プラグは使用できません。

- [電源/発音]スイッチを押し、電源をオンにします。  
電源をオンにした後、約20分間音が入力されない場合は、自動的にオフになります。

- 必要ときは、調子、基音、弦、ピッチを変更します。  
**調子を変更するときは**[調子]スイッチを押します。[調子]スイッチを押すたびに、平調子 → 乃木調子 → 雲井調子 → 中空調子 → クロマチック → 平調子...と調子が変わります。選んだ調子は液晶画面の右下に示されます。  
※ クロマチックを選択しチューニングするときは、後述の「クロマチック・チューニング」の項をご覧ください。

**基音を変更するときは**、[基音/ピッチ]スイッチを押します。神仙C～双調Gの範囲で変更できます。選んだ基音は液晶画面の左下に示されます。

**弦を変更するときは**[弦]スイッチを押します。[弦]スイッチを押すたびに、1(一) → 2(二) → 3(三) ... → 11(斗) → 12(為) → 13(巾) → 自動 → 1(一) ... と選択できます。選んだ弦は液晶画面の左上に表示され、メーターの右側に音名が表示されます。  
※ 1弦を、通常より1オクターブ下に合わせるときは、クロマチック・チューニングを行います。

**ピッチを変更するときは**[基音/ピッチ]スイッチを1秒以上押します。液晶画面の左上がピッチ表示に変わり、点滅します。表示の点滅中に[基音/ピッチ]スイッチを押して、ピッチを変更します。  
[基音/ピッチ]スイッチを押さないまま3秒経つと、基音表示に戻ります。

- 絃を鳴らしながらチューニングします。絃は1本ずつチューニングしてください。  
メーターが●位置(液晶画面中央)を指すように絃を調整します。次に、チューニング・ガイドの中央ランプが点灯するように調整します。  
**手順3で絃を「自動」にしたときは**、絃を鳴らすと、その音に一番近い弦名が液晶画面に表示されます。まず、合わせたい弦名が表示されるように絃を調整します。次に、メーターが●位置(中央)を指すように調整します。そして、チューニング・ガイドの中央ランプが点灯するように調整します。  
※ 箏の5弦を鳴らしたときは、液晶画面に「1」と表示されます。  
**10セント低くチューニングするときは**、メーターが－10セント・ガイド(●)を指すように絃を調整します。  
※ チューニング時は、他の音がマイクに入らないようにしてください。

□ **本機の音に合わせてチューニングしよう(サウンド・モード)**

- “箏のチューニング”の「液晶画面を見ながらチューニングしよう」の手順2、3を設定します。
- [電源/発音]スイッチを1秒以上押すと、1(一)～13(巾)の音が順番に鳴ります。  
**音を固定するときは**[弦]スイッチを押します。次の音へ切り替えるときは[弦]スイッチを押します。
- 音に合わせて、それぞれの弦をチューニングします。
- 音を止めるときは[電源/発音]スイッチを押します。

### クロマチック・チューニング

□ **液晶画面を見ながらチューニングしよう(メーター・モード)**

- “箏のチューニング”の「液晶画面を見ながらチューニングしよう」の手順3で、調子をクロマチックに設定します。  
**音名を変更するときは**[弦]スイッチを押します。[弦]スイッチを押すたびに、以下のように音名が変更されます。選んだ音名はメーターの右側に表示されます。  
**音名:** 自動 → C → C# → D → D# → E → F → F# → G → G# → A → A# → B → 自動 ...

- 絃を鳴らしながらチューニングします。絃は1本ずつチューニングしてください。  
メーターが●位置(液晶画面中央)を指すように絃を調整します。次に、チューニング・ガイドの中央ランプが点灯するように調整します。  
**手順1で弦を「自動」にしたときは**、弦を鳴らすと、その音に一番近い音名が液晶画面に表示されます。まず、合わせたい音名が表示されるように絃を調整します。次に、メーターが●位置(中央)を指すように調整します。そして、チューニング・ガイドの中央ランプが点灯するように調整します。  
※ チューニング時は、関係のない音がマイクに入らないようにしてください。

□ **本機の音に合わせてチューニングしよう(サウンド・モード)**

- “箏のチューニング”の「液晶画面を見ながらチューニングしよう」の手順3で、調子をクロマチックに設定します。
- [電源/発音]スイッチを1秒以上押すと、12の音が順番に鳴ります。  
**12の音:** C (4) → C# → D → D# → E → F → F# → G → G# → A → A# → B → C (4) ...
- 音を固定するときは[弦]スイッチを押します。次の音へ切り替えるときは[弦]スイッチを押します。
- 音に合わせて、それぞれの弦をチューニングします。

## 仕様

<b>音律:</b>	平均律
<b>調子名:</b>	平調子、乃木調子、雲井調子、中空調子、クロマチック
<b>律名:</b>	神仙、杏越、平調、双調
<b>測定範囲:</b>	C1 (32.70Hz)～C8 (4186.01Hz)
<b>基準音範囲:</b>	F3 (174.61Hz)～D6 (1174.66Hz)
<b>チューニング・モード:</b>	メーター・モード、サウンド・モード
<b>ピッチ範囲:</b>	A = 430Hz～445Hz
<b>測定精度:</b>	±1セント以内
<b>サウンド精度:</b>	±2.1セント以内
<b>接続端子:</b>	入力端子(φ6.3モノラル標準ジャック)
<b>電源:</b>	単4電池2本 3V
<b>電池寿命:</b>	約100時間(マンガン電池、メーター・モード音声連続入力時)

**外形寸法(W x D x H):** 104 x 64 x 15 mm  
**重量:** 81g(電池含む)  
**付属品:** 取扱説明書、調弦早見表  
**アクセサリ(別売)** CM-300コンタクト・マイク  
※ 調子、基音、弦、音名、ピッチの設定は、電源をオフにしても記憶しています。ただし、電池を交換した場合は、設定が初期化されます。  
※ 仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

## 保証規定(必ずお読みください)

本保証書は、保証期間中に本製品を保証するもので、付属品類は保証の対象になりません。保証期間内に本製品が故障した場合は、保証規定によって無償修理いたします。

- 本保証書の有効期間はご購入日より1年間です。
- 次の修理等は保証期間内であっても有償となります。
  - 消耗部品(電池、スピーカーなど)の交換。
  - お取扱い方法が不適当のために生じた故障。
  - 天災(火災、浸水等)によって生じた故障。
  - 故障の原因が本製品以外の他の機器にある場合。
  - 不当な改造、調整、部品交換などにより生じた故障または損傷。
  - 保証書にお買い上げ日、販売店名が未記入の場合、または字句が書き替えられている場合。
  - 本保証書の提示がない場合。

尚、当社が修理した部分が再度故障した場合は、保証期間外であっても、修理した日より3か月以内に限り無償修理いたします。

- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
- お客様が保証期間中に移転された場合でも、保証は引き続きお使いいただけます。詳しくは、お客様相談窓口までお問い合わせください。
- 修理、運送費用が製品の価格より高くなる場合がありますので、あらかじめお客様相談窓口へご相談ください。発送にかかる費用は、お客様の負担とさせていただきます。
- 修理中の代替品、商品の貸し出し等は、いかなる場合においても一切行っておりません。

本製品の故障、または使用上生じたお客様の直接、間接の損傷につきましては、弊社はいっさいの責任を負いかねますのでご了承ください。  
本保証書は、保証規定により無償修理をお約束するためのものです。これよりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

### ■お願い

- 保証書に販売年月日等の記入がない場合は無効となります。記入できないときは、お買い上げ年月日を証明できる領収書等と一緒に保管してください。
- 保証書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

**コルグ 調べ三味線用 / 箏用 保証書**

本保証書は、保証規定により無償修理をお約束するものです。

お買い上げ日	年 月 日
販売店名	

## アフターサービス

修理または商品のお取り扱いについてのご質問、ご相談は、お客様相談窓口へお問い合わせください。

**お客様相談窓口**

https://korg.com/support\_j/

サービス・センター：〒168-0073 東京都杉並区下高井戸1-15-10

## 安全上のご注意

火災・感電・人身傷害の危険を防止するには以下の指示を守ってください

**⚠ 警告** この注意事項を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性があります

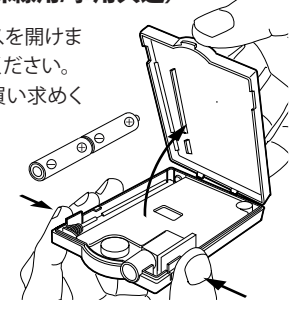
- 次のような場合には、直ちに電池を抜く。
  - 異物が内部に入ったとき
  - 製品に異常や故障が生じたとき
 修理が必要なときは、お客様相談窓口へ依頼してください。
- 本製品を分解したり改造したりしない。
- 修理 / 部品の交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは絶対にしない。
- 大音量や不快な程度の音量で長時間使用しない。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。
- 本製品に異物(燃えやすいもの、硬貨、針金など)を入れない。
- 温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など)での使用や保管をしない。
- 振動の多い場所で使用や保管をしない。
- ホコリの多い場所で使用や保管をしない。
- 風呂場、シャワー室で使用や保管をしない。
- 雨天時の野外などのような湿度の多い場所で、使用や保管をしない。
- 本製品の上に液体の入ったもの(水や薬品等)を置かない。
- 本製品に液体をこぼさない。
- 濡れた手で本製品を使用しない。
- 電池は乳幼児の手の届くところに置かない。電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談する。

**⚠ 注意** この注意事項を無視した取り扱いをすると、傷害を負うまたは物理的損傷が発生する可能性があります

- 正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。
- ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。ラジオやテレビ等に接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。また、ラジオ、テレビ等に雑音が入ることがあります。本製品をテレビ等の横に設置すると、本製品の磁場によってテレビ等の故障の原因になることがあります。
- 外装のお手入れは、乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。
- 長時間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を抜く。
- スイッチやつまみなどに必要以上の力を加えない。故障の原因になります。
- 外装のお手入れに、ベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド質、強酸性のポリッシャーは使用しない。
- 不安定な場所に置かない。

## 電池の入れ方(三味線用/箏用共通)

両脇の“PUSH”を押しながら、ケースを開けます。極性に注意して、電池を入れてください。電池は付属していません。別途お買い求めください。  
誤動作が発生したときは、電源のオンとオフを何度か行ってください。それでも正常に動作しない場合は、電池を一旦はずし、再度入れなおしてください。





**KORG**

調へ

Shirabe

For Shamisen / For Koto  
三味線用 / 箏用  
WT-30S / WT-30K

**Owner's Manual**

Thank you for purchasing the **Shirabe**  
KORG Traditional Japanese Instrument Tuner.

**Precautions**

**Location**

Using the unit in the following locations can result in a malfunction.

- In direct sunlight
- Locations of extreme temperature or humidity
- Excessively dusty or dirty locations
- Locations of excessive vibration
- Close to magnetic fields

**Power supply**

Be sure to turn the power switch to OFF when the unit is not in use. Remove the battery in order to prevent it from leaking when the unit is not in use for extended periods.

**Interference with other electrical devices**

Radios and televisions placed nearby may experience reception interference. Operate this unit at a suitable distance from radios and televisions.

**Handling**

To avoid breakage, do not apply excessive force to the switches or controls.

**Care**

If the exterior becomes dirty, wipe it with a clean, dry cloth. Do not use liquid cleaners such as benzene or thinner, or cleaning compounds or flammable polishes.

**Keep this manual**

After reading this manual, please keep it for later reference.

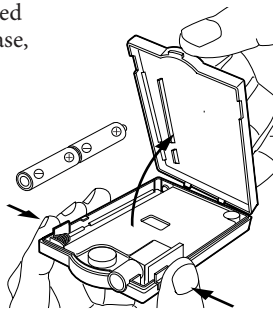
**Keeping foreign matter out of your equipment**

Never set any container with liquid in it near this equipment. If liquid gets into the equipment, it could cause a breakdown, fire, or electrical shock. Be careful not to let metal objects get into the equipment.

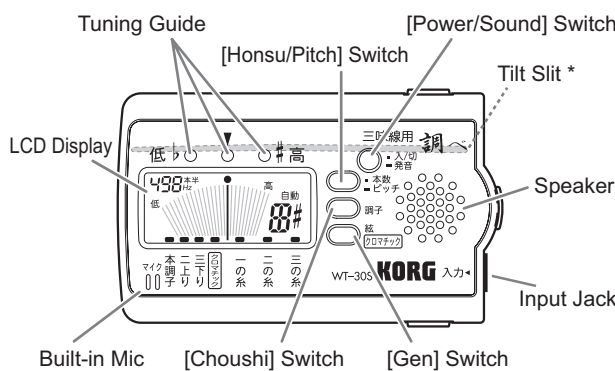
**Installing the battery**

While pressing on the tabs marked PUSH on both sides, open the case, and insert the batteries being careful to observe the correct polarity.

Batteries are not included, so please obtain them separately. Battery life may differ according to the conditions of use. If the unit malfunctions, and turning the power OFF and then ON does not resolve the problem, remove and then reinstall the batteries.



**For Shamisen (WT-30S)**



\* The slit located on the back of the WT-30S is used to tilt the tuner. Place a card or similar object in the slit. (Do not use a valuable card).

**Tuning the Shamisen**

**Tuning with the Meter Mode**

Use the meter on the display to tune the shamisen.

1. If you are using a separately sold Korg CM-300 contact mic, connect the contact mic's connector to the input jack on the WT-30S.

If you are using the tuner's built-in mic, do not connect a cable to the input jack. In this case, position the tuner as close to the instrument as possible in step 4.

\* The built-in mic is deactivated whenever a cable is connected to the tuner's input jack. Also, this jack is monaural. Stereo connectors can not be used.

2. Press the [Power/Sound] switch.

If there is no sound input for about 20 minutes after being switched ON, the tuner automatically switches OFF.

3. Choushi, Honsu, Gen, and Pitch settings can be changed as follows.

**Choushi:** Press the [Choushi] switch to change the Choushi setting. Each press cycles through available settings: Hon-choushi (本調子) → Ni-agari (二上り) → San-sagari (三下り) → Chromatic (クロマチック) → Hon-choushi (本調子)... The selected Choushi is displayed on the LCD's lower left-hand corner.

\* The chromatic mode is described in the "Chromatic Tuning" section.

**Honsu:** Press the [Honsu/Pitch] switch to change the Honsu setting. Range is from 1-pon (1本) to 12-hon-han (12本半). The number of the selected Honsu is displayed on the LCD's upper left-hand corner.

**Gen:** Press the [Gen] switch to change the Gen setting. Each press cycles through available settings: Ichi-no-ito (一の糸) → Ni-no-ito (二の糸) → San-no-ito (三の糸) → Auto (自動) → Ichi-no-ito (一の糸) ... The selected Gen is displayed on the LCD's lower right-hand corner with its note name above. To change the standard **pitch**, hold the [Honsu/Pitch] switch for more than 1 second and the pitch is displayed on the LCD's upper-left side. With the pitch flashing, press the [Honsu/Pitch] switch to change the pitch. If the switch is not pressed for 3 seconds, the display will return to the Honsu mode.

4. Play the shamisen.

Tune the instrument one string at a time so that the meter points to the ● mark (in the center of the LCD) and the tuning guide's middle lamp is lit.

When the Auto mode is selected with the [Gen] switch, the note closest to the pitch played is displayed on the LCD. Adjust the string's pitch until the name of the note you want to tune is displayed, then fine tune so that the meter points to the ● mark (in the center of the LCD) and the tuning guide's middle lamp is lit.

\* Try to prevent unwanted noise from being picked up by the mic while tuning.

**Tuning with the Sound Mode**

Use the tone produced by the tuner to tune the shamisen.

1. Set steps 2 and 3 previously described in the "Tuning with the Meter Mode" section.
2. Hold down the [Power/Sound] switch for more than 1 second and the tuner sounds and starts cycling through the three string pitches (1st, 2nd, 3rd...).
3. Tune the shamisen to the pitch sounding from the tuner.
4. Press the [Power/Sound] switch to stop.

**Chromatic Tuning**

**Tuning with the Meter Mode**

1. Use step 3 previously described in the "Tuning with the Meter Mode" of Tuning the Shamisen and set the Choushi setting to Chromatic (クロマチック). Press the [Gen] switch to change the note name. Each press will cycle through following note names. The selected note is displayed on the right side in the LCD.

**Note names:** Auto (自動) → C → C# → D → D# → E → F → F# → G → G# → A → A# → B → Auto (自動) ...

2. Play the shamisen. Tune the instrument one string at a time so that the meter points to the ● mark (in the center of the LCD) and the tuning guide's middle lamp is lit.

When the auto mode is selected with the [Gen] switch, the note closest to the pitch played is displayed on the LCD. Adjust the string's pitch until the name of the note you want to tune is displayed, then fine tune so that the meter points to the ● mark (in the center of the LCD) and the tuning guide's middle lamp is lit.

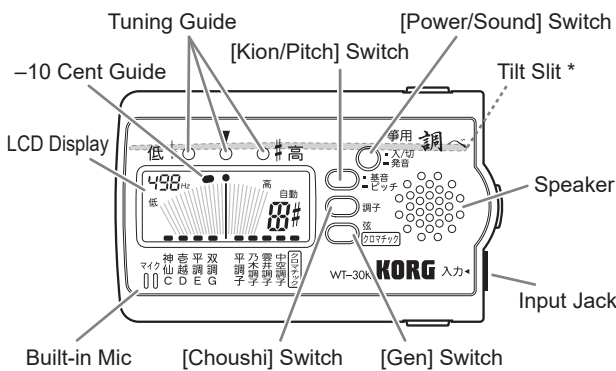
\* Try to prevent unwanted noise from being picked up by the mic while tuning.

**Tuning with the Sound Mode**

Use the tone produced by the tuner to tune the shamisen.

1. Use step 3 previously described in the "Tuning with the Meter Mode" and set the Choushi setting to Chromatic (クロマチック).
2. Hold down the [Power/Sound] switch for more than 1 second and the tuner sounds and cycles through all 12 pitches.  
**12 chromatic pitches:** C (4) → C# → D → D# → E → F → F# → G → G# → A → A# → B → C (4) ...
3. Tune the shamisen to the pitch sounding from the tuner.
4. Press the [Power/Sound] switch to stop.

**For Koto (WT-30K)**



\* The slit located on the back of the WT-30K is used to tilt the tuner. Place a card or similar object in the slit. (Do not use a valuable card).

**Tuning the Koto**

**Tuning with the Meter Mode**

Use the meter on the display to tune the koto.

1. If you are using a separately sold Korg CM-300 contact mic, connect the contact mic's connector to the input jack on the WT-30K.

If you are using the tuner's built-in mic, do not connect a cable to the input jack. In this case, position the mic as close to the instrument as possible when tuning in step 4.

\* The built-in mic is deactivated whenever a cable is connected to the tuner's input jack. Also, this jack is monaural, a stereo connector can not be used.

2. Press the [Power/Sound] switch.

If there is no sound input for about 20 minutes after being switched ON, the tuner automatically switches OFF.

3. Choushi, Kion, Gen, and Pitch settings can be changed as follows.

**Choushi:** Press the [Choushi] switch to change the Choushi setting. Each press cycles through available settings: Hira-joushi (平調子) → Nogi-joushi (乃木調子) → Kumoi-joushi (雲井調子) → Nakazora-joushi (中空調子) → Chromatic (クロマチック) → 平調子 (Hira-joushi)... The selected Choushi is displayed on the LCD's lower right-hand corner.

\* The chromatic mode is described in the "Chromatic Tuning" section.

**Kion:** Press the [Kion/Pitch] switch to change the Kion setting. The range is from Shinsen C (神仙C) to Soujou G (双調G). The selected Kion is displayed on the LCD's lower left-hand corner.

**Gen:** Press the [Gen] switch to change the Gen setting. Each press cycles through available settings: Ichi (1) → Ni (2) → San (3) ... → To (11) → I (12) → Kin (13) → Auto (自動) → Ichi (1) ... The selected Gen is displayed on the LCD's upper left-hand corner with its note name to the right of the meter.

\* In order to tune the 1st string 1 octave lower, please perform chromatic tuning.

To change the standard **pitch**, hold the [Kion/Pitch] switch for more than 1 second and the pitch is displayed on the LCD's upper-left side. With the pitch flashing, press the [Kion/Pitch] switch to change the pitch. If the switch is not pressed for 3 seconds, the display will return to the Kion mode.

4. Play the koto. Tune the instrument one string at a time so that the meter

points to the ● mark (in the center of the LCD) and the tuning guide's middle lamp is lit.

When the auto mode is selected with the [Gen] switch, the note closest to the pitch played is displayed on the LCD.

Adjust the string's pitch until the name of the note you want to tune is displayed, then fine tune so that the meter points to the ● mark (in the center of the LCD) and the tuning guide's middle lamp is lit.

\* When Koto's 5th string is played, "1" is displayed on the LCD.

If -10 cent tuning is required, tune so that the meter points to the -10 cent mark (●).

\* Try to prevent unwanted noise from being picked up by the mic while tuning.

**Tuning with the Sound Mode**

Use the tone produced by the tuner to tune the koto.

1. Set steps 2 and 3 previously described in the "Tuning with the Meter Mode" section.
2. Hold down the [Power/Sound] switch for more than 1 second and the tuner sounds and starts cycling through the 13 string pitches. Press the [Gen] switch to fix the pitch. Use the [Gen] switch to select another string pitch.
3. Tune the koto to the pitch sounding from the tuner.
4. Press the [Power/Sound] switch to stop the sound.

**Chromatic Tuning**

**Tuning with the Meter Mode**

1. Use step 3 previously described in the "Tuning with the Meter Mode" of Tuning the Koto and set the Choushi setting to Chromatic (クロマチック).

Press the [Gen] switch to change the note name. Each press will cycle through following note names. The selected note is displayed on the right side in the LCD.

**Note names:** Auto (自動) → C → C# → D → D# → E → F → F# → G → G# → A → A# → B → Auto (自動) ...

2. Play the koto.

Tune the instrument one string at a time so that the meter points to the ● mark (in the center of the LCD) and the tuning guide's middle lamp is lit.

When the auto mode is selected with the [Gen] switch, the note closest to the pitch played is displayed on the LCD. Adjust the string's pitch until the name of the note you want to tune is displayed, then fine tune so that the meter points to the ● mark (in the center of the LCD) and the tuning guide's middle lamp is lit.

\* Try to prevent unwanted noise from being picked up by the mic while tuning.

**Tuning with the Sound Mode**

Use the tone produced by the tuner to tune the koto.

1. Use step 3 previously described in the "Tuning with the Meter Mode" and set the Choushi setting to Chromatic (クロマチック).
  2. Hold down the [Power/Sound] switch for more than 1 second and the tuner sounds and cycles through all 12 pitches.  
**12 chromatic pitches:** C (4) → C# → D → D# → E → F → F# → G → G# → A → A# → B → C (4) ...
- Press the [Gen] switch to fix the pitch. Use the [Gen] switch to select another pitch.

3. Tune the koto to the pitch sounding from the tuner.
4. Press the [Power/Sound] switch to stop the sound.

**Specifications**

**For Koto (WT-30K)**

<b>Scale:</b>	Tempered
<b>Choushi:</b>	Hira-joushi (平調子), Nogi-joushi (乃木調子), Kumoi-joushi (雲井調子), Nakazora-joushi (中空調子), Chromatic (クロマチック)
<b>Scale Name:</b>	Shinsen (神仙), Ichikotsu (壹越), Hyoujou (平調), Soujou (双調)
<b>Tuning Range:</b>	C1 (32.70Hz)–C8 (4186.01Hz)
<b>Sound Mode Range:</b>	F3 (174.61Hz)–D6 (1174.66Hz)
<b>Tuning Modes:</b>	Meter Mode, Sound Mode
<b>Standard Pitch Range:</b>	A= 430Hz–445Hz
<b>Tuning Accuracy:</b>	Within +/-1 Cent
<b>Tone Accuracy:</b>	Within +/-2.1 Cents
<b>Connections:</b>	Input Jack (6.3 mm monaural phone jack)
<b>Power:</b>	3V AAA battery x 2
<b>Battery Life:</b>	Approx. 100 hrs. (manganese batteries, continuous use w/meter mode)

**Dimensions (W x D x H):** 104 x 64 x 15 mm/4.09" x 2.52" x 0.59"

**Weight:** 81 g/2.86 oz (w/batteries)

**Accessories:** Owner's Manual, Scale Guide,

**Option:** Contact mic CM-300

\* Choushi, Kion, Gen, Note name, and Pitch settings are saved when the power is switched off. However, settings will return to their default values when batteries are replaced.  
\* Specifications and/or design may change due to improvements without notice.

**For Shamisen (WT-30S)**

<b>Scale:</b>	Tempered
<b>Choushi:</b>	Hon-choushi (本調子), Ni-agari (二上り), San-sagari (三下り), Chromatic (クロマチック)
<b>Honsu:</b>	1-pon (1本) to 12-hon-han (12本半) (110.00Hz–213.74Hz)
<b>Tuning Range:</b>	C1 (32.70Hz)–C8 (4186.01Hz)
<b>Sound Mode Range:</b>	A2 (110.00Hz)–B4 (493.88Hz)
<b>Tuning Modes:</b>	Meter Mode, Sound Mode
<b>Standard Pitch Range:</b>	A4= 430–445Hz
<b>Tuning Accuracy:</b>	Within +/-1 cent
<b>Tone Accuracy:</b>	Within +/-1 cent
<b>Connections:</b>	Input Jack (6.3 mm monaural phone jack)
<b>Power:</b>	3V AAA battery x 2
<b>Battery Life:</b>	Approx. 100 hrs.(manganese batteries, continuous use w/meter mode)

**Dimensions (W x D x H):** 104 x 64 x 15 mm/4.09" x 2.52" x 0.59"

**Weight:** 81 g/2.86 oz (w/batteries)

**Accessories:** Owner's Manual, Scale Guide

**Option:** Contact mic CM-300

\* Choushi, Honsu, Gen, Note name, and Pitch settings are saved when the power is switched off. However, settings will return to their default values when batteries are replaced.  
\* Specifications and/or design may change due to improvements without notice.